

	2010年7月	2010年8月	2010年9月	最近の経済動向
世界	-世界M & A:4-6月433億ドル経済危機前水準へ -世界TV出荷:4-6月26%増 -世界半導体売上:6月:49.3%増	-液晶パネル値下がり -世界半導体売上:7月37%増	-GDP:10年:世界3.5%、日2.5%、米2.9%、EU1.1%、中10%、 -世界経済後半から減速IMF -レアメタル高騰、中国の生産規制	・中国、インド、NEIS/ASEAN 経済は内需拡大等で力強く回復し世界経済を牽引。米、日の先進国経済は景気対策効果、新興国への輸出、投資の増加等で緩やかな回復傾向。欧州、米国経済不安が懸念材料。
日本	-政治:民主党参院選大敗 -GDP:4-6月:前期比年率1.5%(1-3月4.4%)前期比0.4% 個人消費0、設備投資1.5%増、輸出5.9%増5期連続 -株価:1日9,191円、14日一時9,785円 -雇用:6月:失業率5.3%、0.1%悪化4カ月連続 -所得:夏ボーナス0.75%増、6月:現金給与1.5%増4カ月+ -消費:猛暑夏商戦活発、6月:消費支出0.5%増、小売業販売3.2%増、新車販売17.4%増、住宅着工0.6%増 -受注:6月:機械24.2%増、民需前月比1.6%増、工作機械2.4倍7カ月+、4-9月:半導体製造装置2倍 -生産:6月:鉱工業17.3%増、前月比1.1%減 -貿易:6月:輸出27.6%増、輸入33.4%増 -収益:4-6月:経常益:全企業83.4%増、上場企業5倍、営業益:ソニー200億円、エプソン20億円、純益:ホンダ36倍2,724億円、ファナック5倍247億円、三菱商2.1倍1,404億円、住商2.6倍645億円、伊藤忠97%増402億円、丸紅14%増306億円、最終益:トヨタ1,904億円、日産1,066億円、スズキ7.1倍151億円、日立860億円、日立建14億円、最終損:NEC431億円、1-6月期:キヤノン2.8倍1,820億円 -投資・開発:三菱電パワー半導体倍増百億円、トヨタ家庭充電型ハイブリット生産12年、ホンダ13年販売、東芝次世代原子炉開発、電力各社スマートグリッド投資10年間6千億円	-金融:日銀資金供給30兆円、年0.1%、長期金利低下10年物0.98% -株価:12日一時9,119円、26日8,845円 -雇用:7月:失業率5.2%、0.1%改善 -物価:7月:消費者1.1%減 -所得:7月:現金給与1.3%増5カ月+ -消費:7月:消費支出1.1%増猛暑、小売業販売3.9%増、新車販売12.9%増48.7万台、住宅着工4.3%増 -受注:7月:機械23.4%増、民需14.7%増、工作機械2.4倍8カ月+、産業機械5.1%減 -生産:7月:鉱工業14.8%増、前月比0.3%増、在庫1.3%増、自動車16.8%増 -貿易:12日円84円前半、7月:輸出23.5%増、輸入15.7%増 -投資・開発:三菱化、GSユアサ短時間充電・大容量・長寿命電池開発、	-財政・金融:10年物国債一時1.15%、日銀新貸付制度開始、経済対策9,150億円、事業規模9.8兆円11年度予算 -株価:1日一時8,824円、15日9,541円 -消費:7日エコカー補助金終了、8月:新車販売37.7%増補助金終了前 -受注:8月:工作機械2.7倍 -貿易:14日円83円25銭 -投資・開発:シャープ太陽電池世界最高発電効率、大日本スクリーン消費電力半減LED量産、東電海外事業に10年間1兆円	(前々月)・GDP第1四半期は消費低水準で減速、デフレ傾向続く。企業業績第1四半期急回復。株価は欧州信用不安、米先行き不確実で低迷。輸出回復も減速。設備投資回復傾向。所得は緩やかに回復、失業率やや悪化、個人消費は猛暑や車販売好調で緩やかな回復傾向。受注、生産は回復もやや減速。持続的な景気回復、雇用確保が最大課題 (前・今月) ・GDP第1四半期は消費低水準で減速、デフレ傾向続く。企業業績第1四半期急回復。株価は欧州信用不安、米先行き不確実で低迷。輸出回復も減速。設備投資回復傾向。所得は緩やかに回復、失業率ほぼ高止まり、個人消費は猛暑や好調な車販売で緩やかな回復傾向。受注、生産は回復もやや減速。持続的な景気回復、雇用確保が最大課題、エコカー補助金廃止影響懸念
アジア・大洋州	-アジア:利上げ相次ぐ韓国、タイ、マレーシア、インド -中国:上海株低迷、6月:輸出43.9%増、新車販売23.5%鈍化、4-6月:GDP10.3%増3期+、消費者物価2.9%、最終益:レノボ5486万ドル、20年迄:新工ネ振興65兆円 -台湾:6月:輸出34.1%増携帯、液晶、投資:台湾プラスチックDRAM2,400億円、友達1.1兆4-6月:純益:UMC3.4倍 -韓国:0.25%利上げ年2.25%、6月:輸出32.4%増、輸入36.9%増、4-6月:GDP前期比年率6%増輸出・投資、家計所得7.7%増、営業益:上場企業47%増、サムスン88%増3,700億円半導体6割、ハニックス31%増、LG90%減、純益:現代自71%増1千億円、生産:サムスン30ナノ半導体量産世界初 -シンガポ:4-6月:GDP前期比年率18.8%増 -タイ:1-6月:輸出37%増、対内直接投資97%増 -インドネシア:6月:消費者物価5%増、4-6月:GDP6.2%増、1-6月:対内直接投資 -ベトナム:1-6月:GDP6.1%増、小売・サービス売上26.7%増、11年:10カ年計画「社会経済開発戦略7-8成長 -インド:4-6月:GDP8.8%、6月:鉱工業7.1%増、新車32%増	-中国:7月:輸出38.1%増、輸入22.7%増、対中直接投資29.2%増、新車販売14.4%増減速、消費者物価3.3%増、6月中旬:純益:上場企業41%増、20年迄:新工ネ自動車産業振興1.3兆円投資 -台湾:4-6月:GDP7.2%増5四半期+、純益:広達4%増、ホンハイ7%増、コンパル99%増、7月:鉱工業生産20.7%増、輸出38.5%増、海外受注18.2%増 -韓国:造船大手受注回復、ハニックス・フラッシュメモリー20ナノ量産、7月:輸出30%増、輸入29%増、新車販売1%増、13年迄:主要企業環境投資1.6兆円 -ASEAN5カ国:4-6月:GDP前期比年率8.6%、7月:新車販売34%増 -タイ:0.25%利上げ年率1.75%へ、4-6月:GDP前期比年率1%増、7月:消費者物価3.4%増、自動車生産94%増 -マレーシア:4-6月:GDP8.9%増 -インドネシア:7月:新車販売72%増、消費者物価6.2%増 -インド:7月:鉱工業13.8%増、新車37%増、卸売物価10%増 -豪:4-6月:GDP4.9%増	-株価:7日全面高 -中国:ハイテク、新工ネ等戦略的新興産業育成、8月:輸出34.4%増、輸入35.2%増、消費者物価3.5%、不動産価格9.3%に鈍化 -台湾:8月:輸出27%増 -韓国:サムスン11年設備・研究開発投資2.2兆円15%増、現代自12年迄100万台増産、13年EV増産、8月:輸出29.6%増 -タイ:8月:消費者物価3.3% -インドネシア:8月:消費者物価6.4% -インド:11日株価2年8カ月ぶり高値、夕夕車開発・増産3年間1,600億円、8月:新車販売33%増、輸出13.2%減、輸入34.3%増、卸売物価8.5%	(前々月)・中国は、固定資産投資・生産・消費高水準、輸出回復で経済の拡大続く。韓国、台湾は輸出・生産・投資、企業業績好調、GDPは高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも高水準回復。インド経済好調。景気の持続的回復課題。中国、インド、インドネシア、ベトナム等でインフレ懸念 (前・今月)・中国は、固定資産投資・生産・消費高水準、輸出回復で経済の拡大続く。韓国、台湾は輸出・生産・投資、企業業績好調、GDPは高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも高水準回復。インド経済好調。持続的成長が課題。インド、インドネシア、ベトナム等でインフレ懸念

北米	<p>-GDP: 4-6月: 前期比年率 1.6% 4 四半期 +、投資 17%、消費 2%、輸出 9.1%、政府 4.4%、10年: 3~3.5%下方修正</p> <p>-景気: 緩やかな回復、先行不透明</p> <p>-財務・金融: 連邦財務 10 年末 GDP 比 62%、金融規制法</p> <p>-株価: 3日 9,655^{ドル}、17日 1万 98^{ドル}</p> <p>-雇用: 6月: 失業率 9.5% 0.2 ポイント低下、-物価: 6月: 卸売前月比 0.5%下落、消費者 0.1%下落</p> <p>-所得: 6月: 個人所得前月比横ばい</p> <p>-消費: 6月: 個人消費前月比横這い、小売売上高 3%増、新車販売 14.4%増、住宅販売 16.7%減、住宅着工 5.8%減</p> <p>-受注: 6月: 耐久財 16.5%増</p> <p>-貿易: 6月: 輸出前月比 1.3%減、輸入 3%増</p> <p>-生産: 6月: 鉱工業前月比 0.4%増 4ヶ月+</p> <p>-収益: 4-6月: 最終益: 主要 500 社 36%増、GM 1,100 億円純益: GE 16%増、IBM 9%増、TI 3倍、アップル 78%、J モトローラ 6倍、J&J 8%増、シスコ 79%増、MS 48%増 3,900 億円、ケール 24%増、フォード 14.9%増 2,300 億円、キャピラ 91%増、</p> <p>-投資・開発: GE 環境・エネルギー R&A 倍増、10年: インテル設備投資 15%増、IBM 医療研究 1億^{ドル}</p>	<p>-景気: 景気引き続き拡大、一部で減速</p> <p>-財務・金融: FRB 国債購入拡大、国債 10 年物 2.56%</p> <p>-株価: 12日 1万 419^{ドル}、25日 1万ドル割れ</p> <p>-雇用: 7月: 失業率 9.5%横這い</p> <p>-所得: 7月: 個人所得前月比 0.2%増</p> <p>-消費: 7月: 個人消費前月比 0.4%増、小売売上高 2.8%増、卸売売上高前月比 0.6%増、新車販売 5.2%増、住宅着工 1.7%増 3か月ぶり+、新築販売 12.4%減、</p> <p>-受注: 7月: 耐久財前月比 0.3%増</p> <p>-生産: 7月: 鉱工業前月比 1%増 5ヶ月+</p> <p>-貿易: 7月: 輸出前月比 1.8%増、輸入 2.1%減</p> <p>-収益: 5-7月: 純益: HP 6%増、デル 15%増、ディア 47%増</p>	<p>-景気: 経済減速の兆候広がる</p> <p>-財務・金融: 追加経済対策 インフラに 4兆円(道路補修、鉄道建設、空港補修)、研究開発減税(10 年間で 8.4 兆円)、投資減税(11 年末までの投資を一括償却)</p> <p>-株価: 15日 1万 526^{ドル}</p> <p>-雇用: 8月: 失業率 9.6% 0.1 ポイント悪化</p> <p>-消費: 8月: 小売売上高 3.2%増 9 ヵ月連続 +、新車販売 21%減、卸売売上高</p>	<p>(前々月)・GDP は 4-6 月迄 4 期連続 +。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安、先行き不確実で低迷。企業業績好調。輸出はやや減速。失業率高水準横這い、個人消費は車販売減速、住宅は減税終了で縮小傾向。投資は回復傾向。受注・生産も回復傾向。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)</p> <p>・GDP は 4-6 月迄 4 期連続 +。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安、先行き不確実で低迷。企業業績好調。輸出はリバウンド。失業率高水準横這い、個人消費は車販売減速、住宅は減税終了で縮小傾向。投資は回復傾向。受注・生産も回復傾向。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-GDP: 4-6月: ユーロ前期比年率 4%増輸出増、前期比: 独 2.2%(輸出、設備投資)、英 1.1%、仏 0.6%、英 1.1%、伊 0.4%</p> <p>-財務・金融: 中銀金利据え置き</p> <p>-雇用: 6月: 失業率ユーロ 10% 横這、独 7%、仏 10%、伊 8.5%</p> <p>-消費: 6月: 小売売上高: ユーロ 0%、独 0.9%減、仏 1.3%減、英 0.7%増、新車販売: 欧州 6.9%減、独 32%減</p> <p>-製造業受注: 6月: ユーロ 22.6%増、独 32.8%増、仏 13.3%増、英 19.4%増、蘭 30.2%増</p> <p>-鉱工業生産: 6月: ユーロ 8.2%増、独 11.5%増、仏 4.8%増</p> <p>-収益: 4-6月: 純益: BMW 7 倍、シーメンス 12%増、フリップス 5.8 倍、ノキア 40%減、エリクソン 2.3 倍、エレクトラックス 56%増、ABB 40%減 2.3 億€、最終益: タイム 1,482 億円、フィアット 130 億円黒字、ルノー 8.2 億€、ボルボ 4.2 億^{ドル}、ソニーエリクソン 13 億円、ST マイクロ 3.4 億€、ASML 2.4 億€ 黒</p> <p>-投資・開発: ABB スマートグリッド事業強化、11年: 欧州委 R&D 投資 7,200 億円</p>	<p>-財務・金融: 10 年物国債 2.32%</p> <p>-雇用: 7月: 失業率ユーロ 10% 横這</p> <p>-消費: 7月: 自動車販売: 独 30%減、仏 12.9%減、伊 26%減</p> <p>-貿易: 6月: ユーロ輸出 27%増、輸入 31%増</p>	<p>-GDP: 10年: ユーロ 1.7%、独 3.4%、仏 1.6%、英 1.7%</p> <p>-財務・金融: アイルランド 財政赤字拡大 対 GDP 比 11 20%</p> <p>-消費: 8月: 新車販売: 独 27%減</p>	<p>(前々月)・GDP は輸出主導で回復傾向。欧州信用不安で株価下落傾向。企業業績は回復傾向。輸出増加傾向。投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、車販売は 4 月にマイナスに転化、個人消費は低迷。受注、生産は回復傾向。景気回復、雇用確保、ユーロ防衛が課題</p> <p>(前・今月)</p> <p>・GDP は輸出主導で回復傾向。欧州信用不安で株価下落傾向。企業業績は回復傾向。輸出増加傾向。投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、車販売は 4 月以降マイナス、個人消費は低迷。受注、生産は回復傾向。景気回復、雇用確保、ユーロ防衛が課題</p>
中東ア	<p>-UAE: 住商・韓国電力大型発電所有力 2,000 億円</p>	<p>-トルコ: 4-6月: GDP 10.3%増 3 四半期 +、消費、建設、不動産、輸出</p>	<p>-サウジアラビア: 斗山火力発電所受注 2,900 億円</p>	<p>・主要国経済は資源価格の上昇で回復傾向。一方、太陽光、原子力、電力、石化プロジェクト活性化。ドバイショックの鎮静化、イラク・アフガン情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-GDP: 10年: 中南米 5.2%、ブラジル 7.6%、メキシコ 4.1%</p> <p>-ブラジル: 0.5%利上げ年 10.75%、高速鉄道入札、6月: 新車販売 12.4%減 11 ヵ月ぶり -、前年の反動</p>	<p>-メキシコ: 4-6月: GDP 前期比年率 13.5%増、製造 13.4%増</p> <p>-ブラジル: 4-6月: GDP 前期比年率 5%増、前期比 1.2%、消費 0.8%増、政府 2.1%増、投資 2.4%増、輸出 1%増、7月: 新車販売 6%増</p>	<p>-ブラジル: 8月: 自動車販売 21.2%増 31 万台</p>	<p>・ブラジル経済は景気回復もインフレ・利上げで冷却化。メキシコ経済も急回復。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア: ロシア版シリコンバレー海外企業投資、6月: 原油生産前月比 0.5%増過去最高、新車販売 45%増 3 ヵ月 +</p>	<p>-ロシア: 穀物作付面積 25%崩壊、7月: 新車販売 48%増 17 万台</p>		<p>・ロシアは石油価格の回復、新車販売等内需回復傾向。持続的回復が課題。</p>